

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)  
 【**単**独・連携事業】

市町名	宇都宮市
-----	------

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	もったいない運動市民事業	総事業費	6,483,558	5,525,018	6,478,000	5,375,000	5,375,000	29,236,576
		うち市町支出額	5,230,000	4,325,000	5,408,000	4,325,000	4,325,000	23,613,000
		うち県交付金		1,000,000	2,000,000			3,000,000
2	フェスタin大谷実行委員会交付金事業	総事業費	4,124,531	3,747,798	3,485,347	4,000,000	4,000,000	19,357,676
		うち市町支出額	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	15,000,000
		うち県交付金	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	3,000,000
3	うつのみや食育フェア実行委員会交付金事業	総事業費	7,235,273	6,946,726	6,595,514	6,500,000	6,500,000	33,777,513
		うち市町支出額	6,347,000	6,075,000	5,755,000	5,755,000	5,755,000	29,687,000
		うち県交付金	0	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
4	宇都宮ウオーキングフェスタ	総事業費	2,394,422	2,223,990	3,237,000	3,237,000	2,894,000	13,986,412
		うち市町支出額	1,200,000	1,200,000	1,700,000	1,700,000	1,400,000	7,200,000
		うち県交付金	0	600,000	850,000	850,000	0	2,300,000
5	フェスタmy宇都宮	総事業費	6,230,228	6,442,851	6,489,000	6,489,000	6,489,000	32,140,079
		うち市町支出額	4,750,000	4,750,000	4,750,000	4,750,000	4,750,000	23,750,000
		うち県交付金	0	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
6	花いっぱい地域魅力創出事業	総事業費	0	0	500,000	50,000	50,000	600,000
		うち市町支出額	0	0	400,000			400,000
		うち県交付金	0	0	200,000			200,000
7	「豊郷まほろばの道」歩け歩け大会～蒲生君平生誕250年記念事業～	総事業費	178,746	175,092	345,000	149,000	149,000	996,838
		うち市町支出額	0	0	196,000			196,000
		うち県交付金	0	0	98,000			98,000
8	東地区魅力創造事業	総事業費	0	0	738,000	350,000	350,000	1,438,000
		うち市町支出額	0	0	500,000			500,000
		うち県交付金	0	0	250,000			250,000
9	歴史的文化資源を活用したまちづくり推進事業	総事業費	0	0	660,000	80,000	80,000	820,000
		うち市町支出額	0	0	500,000			500,000
		うち県交付金	0	0	250,000			250,000
10	河内の宝物と人の交流事業	総事業費	0	628,908	800,000	800,000		2,228,908
		うち市町支出額	0	500,000				500,000
		うち県交付金	0	250,000				250,000
11	「豊郷まほろばの道」魅力発信事業	総事業費	0	529,315	250,000	250,000		1,029,315
		うち市町支出額	0	400,000				400,000
		うち県交付金	0	200,000				200,000
12	「梵天の里上河内」魅力発信事業	総事業費	0	632,202	222,000	222,000		1,076,202
		うち市町支出額	0	500,000				500,000
		うち県交付金	0	250,000				250,000
13	城山ウェルカムフラワー「花いっぱい運動」推進事業	総事業費	0	626,045	100,000	100,000		826,045
		うち市町支出額	0	500,000				500,000
		うち県交付金	0	250,000				250,000
14	鬼怒川グルメフェスティバル・新米まつり	総事業費	0	768,715	504,600	504,600		1,777,915
		うち市町支出額	0	500,000				500,000
		うち県交付金	0	250,000				250,000
市町計		総事業費	26,646,758	28,246,660	30,404,461	28,106,600	25,887,000	139,291,479
		うち市町支出額	20,527,000	21,750,000	22,209,000	19,530,000	19,230,000	103,246,000
		うち県交付金	0	3,800,000	6,648,000	3,850,000	2,000,000	16,298,000

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市 町 名	宇都宮市
事 業 名	もったいない運動市民事業
事業主体の名称	宇都宮市もったいない運動市民会議
代表者の名称	宇都宮市もったいない運動市民会議 会長 上野 勝弘
事業主体の所在	宇都宮市旭1-1-5 宇都宮市環境部環境政策課内
事業主体の概要	<p>・団体の目的:地球温暖化対策及び3Rの推進並びにおもてなしの心の醸成を図るため、「あらゆる地球資源に対する尊敬・感謝(リスペクト)」を込めた「ひとやものを大切にすること」を基本とした様々な活動・取組を推進する宇都宮市の「もったいない運動」を広く普及させることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成21年3月27日</p> <p>・構成員等:宇都宮市おもてなし委員会、特定非営利活動法人うつのみや環境行動フォーラムほか28団体の代表者 計30名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・本市は、人と自然が共生し、環境への負荷が少ない「持続可能な環境都市 うつのみや」を実現するため、平成13年10月に「宇都宮市環境基本条例」を施行し、平成15年2月に「第1次宇都宮市環境基本計画」を策定し、様々な環境施策に取り組み、市民の意識向上を図ってきた。</p> <p>・平成17年にワンガリ・マータイ氏が来日し「もったいない」が世界的に注目される中、本市はその趣旨に賛同し全国に先駆けて平成19年に「もったいない全国大会」を開催し、ものを大切に「もったいない」の心と、ひとを思いやる「おもてなし」の心が行動に結びつこう、市民主体により「ひと・もの・まち」を大切にすることを目指す本市独自の「もったいない運動」を展開してきた。</p> <p>・これらの運動は、市民の日常生活との関わりが強く、市民が自ら取り組むことが重要であることから、引き続き運動実践者の拡大を図るため、あらゆる機会を通じて本市独自の「もったいない」を周知していく。</p> <p>・平成30年度に市民会議が創設10周年となることから、「もったいないの心」や人への思いやりを大切に「おもてなしの心」が、これまでに以上定着するよう、市と市民会議の連携をさらに強化し、認知から実践まで幅広い取組を推進し、子どもから高齢者までの全世代において、本市独自の「もったいない運動」の輪の広がりと実践者の拡大を目指す。</p>
事業目的	地球温暖化対策及び3Rの推進並びにおもてなしの心の醸成を図るため、「あらゆる地球資源に対する尊敬・感謝(リスペクト)」を込めた「ひとやものを大切にすること」を基本とした様々な活動・取組を推進する宇都宮市の「もったいない運動」を広く普及させる。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①宇都宮市もったいない運動市民会議創設10周年記念事業 方針:もったいない運動市民会議創設10周年を契機として、さらなる「もったいない運動」の実践者の拡充、若年層への認知拡充を図る事業を展開する。</p> <p>【各種事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もったいないフェア【若年層向けブースの拡充】</li> <li>・もったいない残しま10!【家庭向けに食品ロスの意識定着】</li> <li>・もったいない体操の普及【若年層への認知度向上】</li> <li>・広報媒体を活用した効果的な周知の実施</li> <li>・啓発物品を活用した普及啓発の推進</li> </ul> <p>※環境配慮行動の実践を促進させることを目的とした普及キャンペーン(広報)を毎年実施する。</p> <p>②まだ食べられるのに廃棄される食品を削減するため「もったいない残しま10!」運動を展開する。</p> <p>③もったいないフェア2017のイベントを開催し、広く周知啓発活動を行う。(9月24日(日)開催予定)</p> <p>④不要になった本やDVDを回収する「もったいないりぶつ」活動を年間を通じて行う。</p> <p>⑤子どもから大人まで「もったいない」と感じることや実践していることを楽しくわかりやすく表現する「もったいない4コマまんがコンクール」を行う。</p> <p>⑥節電行動を促すクールシェアに取り組む企業や団体と連携し「節電キャンペーン」を行い市民の意識啓発を図る。</p> <p>⑦ひと・もの・まちを大切に「もったいない運動」を工夫して楽しみながら取り組む個人・団体を表彰する「もったいないAWARD」を実施する。</p> <p>⑧HP・FB・メルマガを活用した効果的な情報発信を行うほか、企業や団体と連携し「もったいない運動」をPRする。</p> <p>⑨他イベントにブース出展し「もったいない運動」の普及啓発を図る。</p> <p>⑩市内大学や市民会議構成団体と連携し「もったいない運動ひろめ隊」の活動を展開する。</p> <p>【平成31年度～】</p> <p>平成30年度においては、これまで「もったいない運動」に興味・関心のなかった人々(若年層)を主なターゲットとして、普及啓発を実施し、若年層の認知度向上を図ってきたが、平成31年度からは、若年層の実践者の拡大を図る事業を展開する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】人口規模・構造の変化に適合したまち、ネットワーク型コンパクトシティを実現する。</p> <p>●本市の特性を生かした産業・観光を維持・発展させる都市を実現する。</p> <p>(→特色ある地域空間を生み出す観光拠点の形成→おもてなしある受入体制の充実)</p> <p>⇒本市年間観光入込客数 H22(実績) 1,353万人 → H29 1,500万人 ※1,483万100人(H28)</p> <p>⇒宇都宮に愛着がある人の割合 H23 63.7% → H29 75.0% ※66.5%(H28)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①市民会議設立10周年事業 ②もったいない残しま10!運動 ③もったいないフェア ④もったいないりぶつ活動 ⑤もったいない4コマまんがコンクール ⑥節電キャンペーン ⑦もったいないAWARD ⑧SNSを活用した情報発信 ⑨他イベントブース出展 ⑩もったいないひろめ隊	①市民会議設立10周年事業 ②もったいない残しま10!運動 ③もったいないフェア ④もったいないりぶつ活動 ⑤もったいない4コマまんがコンクール ⑥節電キャンペーン ⑦もったいないAWARD ⑧SNSを活用した情報発信 ⑨他イベントブース出展 ⑩もったいないひろめ隊	①もったいない残しま10!運動 ②もったいないフェア ③もったいないりぶつ活動 ④もったいない4コマまんがコンクール ⑤節電キャンペーン ⑥もったいないAWARD ⑦SNSを活用した情報発信 ⑧他イベントブース出展 ⑨もったいないひろめ隊		
事業費	5,525,018	6,478,000	5,375,000	17,378,018	5,375,000
市町支出金(ソフト事業分)	4,325,000	5,408,000	4,325,000	14,058,000	4,325,000
うち県交付金	1,000,000	2,000,000		3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,200,018	1,070,000	1,050,000	3,320,018	1,050,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	環境政策課エコ活動グループ
担当者名	高橋 悠輝
電話	028-632-2417
FAX	028-632-3316
E-mail	u0715@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単事業調査)  
【単事業】

市町名	宇都宮市
事業名	フェスタin大谷実行委員会交付金事業
事業主体の名称	フェスタin大谷実行委員会
代表者の名称	フェスタin大谷実行委員会 委員長 石下 光良
事業主体の所在	〒321-0345 宇都宮市大谷町1075番地 大谷石材協同組合内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の目的:フェスタin大谷を推進し、「石の里・大谷」を中心とする城山地区の振興に寄与することを目的とする。</li> <li>設立年月日:平成16年7月8日</li> <li>構成員等:別紙名簿のとおり</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>【地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載】</p> <p>地域の特徴・現状: 大谷石の産地であり、本市の唯一の観光地でもある大谷地区において、平成元年の陥没事故以降、東日本大震災発生等により、平成24年度までは大谷への観光客は減少傾向にあったが、平成23年度より休業していた大谷資料館において、平成25年4月からの開館に伴い、メディアへの露出が増えたことにより、観光客が増加に転じており、現在も増加傾向にある。「石の里大谷」の魅力在市外県外に発信し、大谷への観光誘客促進を図る事業「フェスタin大谷」においても、上記大谷の現状を色濃く反映し、平成26年度に過去最高の来場者数を記録した。</p> <p>地域の課題・解決策: 現状での増加の背景は大谷資料館などを一部の施設を目的とした観光客が多いため、主にスポットで完結してしまう点での観光となってしまうっており、滞在時間が短く、回遊性も低いいため、経済効果薄い状況にある。今後は、観光客が様々な施設を回遊し、滞在時間の延長、回遊性の向上により高い経済効果を生むような、面での観光へのシフトを促すイベント実施を検討している。</p>
事業目的	<p>【事業の目的を簡潔に記載】</p> <p>大谷地域の活性化を促すとともに、「石の里・大谷」の魅力を県内外に向けて広くPRし、誘客を図ることで、「大谷」のみならず城山地区全域の観光振興を図るもの。</p>
事業概要	<p>【当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該年度の実施内容 別紙概要書のとおり</li> <li>翌年度以降の取組等 これまで、日中のイベント開催で大谷観光振興を図ってきたが、大谷資料館開館等により、日中の大谷地区観光入込客数が増加傾向にあることから、開催日時を日中から夜開催に変更予定。「石の里・大谷」の魅力を更に発信できるイベントにするため、実施内容を大谷地区の観光振興に沿った形にする。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【各市町の戦略から抜き出して記載】</p> <p>基本目標:本市の魅力を広く市外、県外に発信することで、来訪者の増加を図るとともに、本市での定住を促進する。 KPI:本市年間観光入込客数 H22:1,353万人⇒H30:1,600万人【H29実績1,499万人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①フェスタin大谷2017の 開催	①フェスタin大谷2018の 開催	①フェスタin大谷2019の 開催		
事業費	3,747,798	3,485,347	4,000,000	11,233,145	
市町支出金 (ソフト事業分)	3,000,000	3,000,000	3,000,000	9,000,000	
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	747,798	485,347	1,000,000	2,233,145	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光交流課 観光企画グループ
担当者名	黒後 彩乃
電話	028-632-2437
FAX	028-632-5420
E-mail	kanko@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	うつのみや食育フェア実行委員会交付金事業
事業主体の名称	うつのみや食育フェア実行委員会
代表者の名称	うつのみや食育フェア実行委員会 会長 佐藤 栄一
事業主体の所在	宇都宮市竹林町972番地 (宇都宮市保健福祉部保健所健康増進課内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:うつのみや食育フェアを通じて、市民一人ひとりが食育の重要性を理解し、健全な食生活を送れるよう、食育の普及及び啓発を図ることを目的とする。</li> <li>・設立年月日:平成18年5月26日</li> <li>・構成員等:宇都宮市食育推進会議、宇都宮市食生活改善推進員協議会、宇都宮農業協同組合ほか26団体の代表者 計32名</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>本事業は、市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むため、家庭、学校、地域、企業など多様な取組主体と連携し、食に関する知識の普及と体験の機会を提供することで、市民に食育の重要性について啓発することを目的とし、平成18年度から開催している。</p> <p>本市では、本事業やその他食育に関する事業を推進してきた結果、市民の食育の認知度は向上してきたが、依然として若い世代の食育の実践や、働く世代のメタボリックシンドロームの予防改善が課題となっている。また、本事業が秋のイベントとして市民に定着してきている一方、近年の参加者数は横ばいとなっており、参加者を増やすための催事や広報の取組が課題となっている。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むため、家庭、学校、地域、企業など多様な取組主体と連携し、食に関する知識の普及と体験の機会を提供することで、市民に食育の重要性について啓発する。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>1 実施日時 平成30年10月14日(日) 午前10時～午後3時</p> <p>2 会場 宇都宮城址公園</p> <p>3 周知方法 チラシ、ポスターを始め、SNSによる情報発信やラジオ等を活用した広報を実施し、多くの市民に来場いただけるよう周知を図る。</p> <p>4 内容</p> <p>(1) 出展ブース:食育に関する情報提供ブース、試食・体験ブースなど(昨年度実績87ブース)</p> <p>(2) ステージ:食育関係表彰式、集客性のあるステージイベント(調理披露等)など</p> <p>(3) その他:会場内を巡るクイズラリーなど</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>更なる食育の普及啓発に向け、多様な取組主体と連携・協力のもと、催事の充実度を高めていく。また、自主財源の確保に向け、出展料の徴収等の検討を進める。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標:市民の結婚・出産・子育ての希望を実現する</li> <li>・基本施策・具体的な事業:高齢者になっても健康で自立した生活を送りながら、あらゆる場面で活躍できる社会の実現を図る。</li> <li>・KPI:健康寿命 H22(男性78.47歳、女性83.16歳)⇒H29(平均寿命の延伸分を上回る健康寿命の増加)</li> </ul>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	第13回うつのみや食育フェア開催	第14回うつのみや食育フェア開催	第15回うつのみや食育フェア開催		
事業費	6,595,514	6,500,000	6,500,000	19,595,514	
市町支出金(ソフト事業分)	5,755,000	5,755,000	5,755,000	17,265,000	
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	840,514	745,000	745,000	2,330,514	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	健康増進課企画グループ
担当者名	梓澤 淳一
電話	028-626-1128
FAX	028-627-9244
E-mail	u19070500@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	宇都宮ウォーキングフェスタ
事業主体の名称	宇都宮市民憲章推進協議会
代表者の名称	鎌倉 三郎
事業主体の所在	宇都宮市旭1丁目1番5号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的 : 宇都宮市民憲章を啓発推進し、「心のかよいう人間性豊かなまち宇都宮」の建設に寄与する。</li> <li>・設立年月日 : 昭和56年2月25日</li> <li>・構成員等 : 市内185の市民団体</li> <li>・普及啓発事業: 「フェスタmy宇都宮」「宇都宮ウォーキングフェスタ」</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	今年で開催24回目となり、継続して開催してきたことで秋のイベントとして市民に定着してきており、ウォーキングを通じた健康づくりが市民に浸透しつつあるが、近年の参加者数は横ばいとなっており、今後、参加者数を増やすための工夫が必要である。また、公道がコースとなっていることから、コース上における参加者の安全の確保が課題となっている。
事業目的	市民憲章で掲げている「健康で、心のふれあう明るいまち」の具現化に向け、恵まれた自然と豊かな文化にふれあい人とひととの交流を深めること、歩くことの楽しさと心と体のバランスのとれた健康づくりをすすめること、いつでもどこでも気軽に楽しめる生涯スポーツを推進することを目的に開催するもの。
事業概要	<p>当該年度</p> <p>【開催日時、場所】平成30年10月28日(日) 宇都宮市中心市街地(会場:宇都宮城址公園)</p> <p>内容 : 中心市街地を回遊する3コース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加予定2,000人</li> <li>・記念グッズやドリンクサービスの提供</li> <li>・参加者が安心して参加できるよう安全面を考慮したコースを設定</li> <li>・市内外へ周知できるよう広報の強化、配置スタッフの増員や警備の強化に努める</li> <li>・配置スタッフ増員には、若者のボランティア意識向上も兼ね、大学生・中学生などのボランティア募集なども実施</li> </ul> <p>翌年度以降</p> <p>新たな本市の魅力を発信できるコース設定による開催</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標: 1 市民の結婚・出産・子育ての希望を実現する</li> <li>・基本施策・具体的な事業: 高齢者になっても健康で自立した生活が送れる社会の実現。地域の健康づくり実践活動の推進。</li> <li>・KPI: 健康寿命 H22 男性78.4才 女性83.16才 → H30 平均寿命の延伸分を上回る健康寿命の増加</li> </ul>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	宇都宮ウォーキング フェスタ2017	宇都宮ウォーキング フェスタ2018	宇都宮ウォーキング フェスタ2019		宇都宮ウォーキング フェスタ2020
事業費	2,223,990	3,237,000	3,237,000	8,697,990	2,894,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,200,000	1,700,000	1,700,000	4,600,000	1,400,000
うち県交付金	600,000	850,000	850,000	2,300,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,023,990	1,537,000	1,537,000	4,097,990	1,494,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	みんなであちづくり課
担当者名	田中 睦美
電話	028-632-2886
FAX	028-632-3268
E-mail	u2207@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	フェスタmy宇都宮
事業主体の名称	宇都宮市民憲章推進協議会
代表者の名称	鎌倉 三郎
事業主体の所在	宇都宮市旭1丁目1番5号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:宇都宮市民憲章を啓発推進し、「心のかよいあう人間性豊かなまち宇都宮」の建設に寄与する。</li> <li>・設立年月日:昭和56年2月25日</li> <li>・構成員等:市内185の市民団体</li> <li>・市民憲章を更に普及啓発するため、これまで提唱事業として協力してきた「フェスタmy宇都宮」等を実施する「宇都宮市民の日実行委員会」と平成26年3月に組織一体化した。</li> <li>・普及啓発事業:「フェスタmy宇都宮」「宇都宮ウオーキングフェスタ」</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本事業は今年で開催31回目を迎え、毎年5万人以上が来場する、春を代表する本市のイベントとして定着しているが、イベント来場者へのアンケート調査では、会場間が離れていることから移動が大変であるという意見が多く、効率的な移動方法等の検討が必要である。</p> <p>また、中心市街地の賑わいが戻りつつあるが、今後更なる活力の維持を図るため、市民活動団体や企業も含めたつながりを持つことで、まちづくりの相乗効果を生み出す必要がある。</p>
事業目的	市民憲章を具現化し、心豊かな宇都宮市を創造することを期する日として「市民の日」が制定されたことに伴い、フェスタmy宇都宮は4月1日の「市民の日」を記念し、市民憲章にある「明るく、楽しく、美しいまちづくり」を推進するため、市民が自由な発想で事業に参加し、工夫を凝らしながらまちづくりや郷土愛、コミュニティ意識を醸成することを目的として実施するもの。
事業概要	<p>郷土愛や地域コミュニティ意識の醸成、市民活動団体等の繋がり拡大のため、「フェスタmy宇都宮2018」を実施する 【開催日時、場所】平成30年5月20日(日) 宇都宮市中心市街地5会場 (宇都宮城址公園、オリオンスクエア、パンパひろば、中央市民活動センター、まちかど広場) 【内 容】・約190の参加団体によるブース出展や、歌や踊り等のステージ。 ・会場各所のチェックポイントを巡るスタンプラリーの実施。 ・特別企画として、「大好き宇都宮!～みんなの思いをフラッグに～」を実施。会場の一体感や郷土愛を醸成することを目的に、出展団体や来場者の方々に「うつのみやの好きなところ(人・もの・風土など)」をフラッグに書いてもらい、会場である城址公園内に掲出する。</p> <p>【翌年度以降の取り組み】 事業の実施主体である市民の日実行委員会の組織のあり方や事業内容等は必要に応じて見直しが必要であるが、市民総参加型の事業として重要であることから、今後も継続して実施していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標2:人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図る</li> <li>・基本施策・市民協働によるまちづくりの推進。</li> <li>・KPI:自治会加入世帯数 H27.4 147,810世帯 → H31 148, 810世帯</li> </ul>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	フェスタmy宇都宮2018	フェスタmy宇都宮2019	フェスタmy宇都宮2020	/	フェスタmy宇都宮2021
事業費	6,489,000	6,489,000	6,489,000	19,467,000	6,489,000
市町支出金 (ソフト事業分)	4,750,000	4,750,000	4,750,000	14,250,000	4,750,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,739,000	1,739,000	1,739,000	5,217,000	1,739,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	みんなであちづくり課
担当者名	濱崎 亮太
電話	028-632-2288
FAX	028-632-3268
E-mail	u2207@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	花いっぱい地域魅力創出事業
事業主体の名称	桜地域まちづくり協議会
代表者の名称	日渡正文
事業主体の所在	宇都宮市桜3丁目2-22(桜地域コミュニティセンター内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:地区内各種団体の連携を深め、地域の発展に寄与する。</li> <li>・設立年月日:平成14年4月1日</li> <li>・構成員等:桜地域で活動する各種団体</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>当地域は、桜通り(旧軍道)の東西に広がる、住宅・商店混在地にマンションが多数立地する地域であり、「桜」の地域名は、旧軍道の桜並木に由来する。当地域では、昨年3月「桜地域ビジョン」を策定し、各種団体の活動に「桜色」を取り入れるなど、地域の名前である桜をシンボルにまちづくり活動を展開している。地域の問題点・要望として、①高齢化(特に一人暮らし高齢者)②地域内の結びつきの希薄化③空き家・店舗の増加④地域全体で集まれるイベントの実施などが挙げられた。そこで、シンボルの桜を生かした新たなコミュニティ構築の仕組みづくりが喫緊の課題であるとする。</p>
事業目的	<p>「花」は、あいさつとともに、人と人を結びつける上で最適のツールである。そこで、まず、地域ぐるみの「花いっぱい運動」と「笑顔であいさつ運動」を同時に展開する。さらに、「桜マップ」を作成して地域内の魅力を再発見するとともに、花をメインにした新たな地域イベントを開催して地域の中心である桜小学校・桜コメセンを核とした新たな交流の機会をつくる。そうした取組みを通して地域内外の人と人の出会いとつながりの機会を創出する。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①「桜マップ」の作成・・・桜地域内及び隣接周辺部に植栽されたサクラの所在を隈なく調査し、写真撮影とともに記録する。集めたデータを一枚の地図に納めた「桜マップ」を作成する。表面はサクラの写真を中心に地域の魅力を紹介するモノとし、サクラの見どころを周遊するよう誘導し、地域に対する関心を高めることを目標とする。裏面は交通危険箇所や避難所の場所など、防災、防犯などの、いざというとき役立つ情報を掲載し、サクラの季節以外は「地域安心・安全マップ」として活用できるものとし、各家庭に配布する。</p> <p>②「花いっぱい運動」の展開・・・緑豊かな自然と調和したまちづくりを進めるため、地域住民に協力を求め、庭先、玄関先に花の鉢植えの設置を呼び掛ける。同時に、一人暮らし高齢者世帯には、見守りを兼ねて花の鉢植えを配布し、定期的に鉢植えの状況を見て回ること安否確認を行う。また、桜小児童にも苗を育ててもらう。</p> <p>③「桜のまちづくりサポーター」制度の構築・・・「花いっぱい運動」を地域全体に広げていけるよう、まちづくりに係るサポーター制度を構築する。桜地域のホームページを立ち上げ、桜地域のまちづくり活動を発信し、趣旨賛同してくれる地域人材の発掘と育成を行う。</p> <p>【平成31年度～】</p> <p>①「さくらフェスタ」の開催・・・桜コミュニティセンター、桜小学校を会場にサクラにまつわる各種催しを開催し、当日は桜マップを持って地域内を散策し、マップに掲載された桜の木を見てまわり「現代版花見」を楽しみ地域の融和と結束を図る。</p> <p>②「花いっぱい運動」の拡大・・・配布した鉢植えから、出来た種を回収するイベントを実施し、種のバトンを繋ぐことで運動の拡大を目指す。</p> <p>③「桜のまちづくりサポーター」会員の拡大・・・サポーターが新たなサポーターを呼び込めるよう、サポーターの活動を情報発信し、また、年1回は活動報告会を開き、活動に広がりを持つよう組織化していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>各市町の戦略から抜き出して記載(※センター職員が記載:「宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」から関係指標を転記)</p> <p>【目標】人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図る</p> <p>【KPI】地域産業を支える地域人材の育成や、本市の持つ労働供給力の充実など、幅広い分野での「人づくりを進める自治会加入世帯数 147,810世帯(H27.4現在)⇒148,810世帯(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度(30年度)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜マップの作成</li> <li>・「花いっぱい運動」の展開</li> <li>・「桜のまちづくりサポーター」制度の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さくらフェスタの開催</li> <li>・「花いっぱい運動」の展開</li> <li>・桜のまちづくりサポーター会員拡大</li> <li>・ホームページによる情報発信の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さくらフェスタの開催</li> <li>・「花いっぱい運動」の展開</li> <li>・桜のまちづくりサポーター会員拡大</li> <li>・ホームページによる情報発信の充実</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・さくらフェスタの開催</li> <li>・「花いっぱい運動」の展開</li> <li>・桜のまちづくりサポーター会員拡大</li> <li>・ホームページによる情報発信の充実</li> </ul>
事業費	500,000	50,000	50,000	600,000	50,000
市町支出金 (ソフト事業分)	400,000			400,000	
うち県交付金	200,000			200,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	100,000	50,000	50,000	200,000	50,000

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	「豊郷まほろばの道」歩け歩け大会 ～蒲生君平生誕250年記念事業～
事業主体の名称	豊郷地区豊かな郷づくり推進協議会
代表者の名称	会長 坂本 登
事業主体の所在	宇都宮市岩曾町825番地1(豊郷地区市民センター内)
事業主体の概要	・団体の目的:郷土故郷を地域ぐるみで育み、地域の活性化を具体的に進めていくための総合的なまちづくり組織 ・設立年月日:平成10年 ・構成員等:連合自治会、単位自治会(41)、社協、民児協、体協、婦人会、青少年育成会、子ども会、老人クラブ、スポーツクラブ、小中学校、地区市民センター等
当該事業に係る地域の現状と課題	事業主体が管理する「豊郷まほろばの道」は、平成8年、豊かな自然と調和した歴史文化遺産を結び合わせた散策路として整備され、平成27年には、「新日本歩く道紀行100選(ふるさとの道)」に認定された。平成29年度には老朽化したモニュメント(木製トーマスポール)を11箇所リニューアルするほか、道案内標識(矢印板)を設置した。今年度は、同道は古墳群を多数有していることから、本市生まれの前方後円墳の名付け親である蒲生君平生の生誕250周年にあわせ、効果的なPRによりその魅力を十分に発信していく必要がある。
事業目的	地区内の地域資源である豊かな自然と歴史文化遺産とが調和した「豊郷まほろばの道」の魅力が地区内外に発信する歩け歩け大会を地域住民主体で開催し、交流人口の増加と地域まちづくり活動の担い手を育成する機会とし、世代を超えた持続的な地域活性化に繋げていく。
事業概要	【平成30年度】 歩け歩け大会の開催に伴い下記に掲げる事業について、事業主体のほか地域まちづくり団体、ボランティアなどが協力して実施する。 ① 歩け歩け大会についての広報用チラシ、また、まほろばの道のマップを作成する。 ⇒ 地区の各種事業(歩け歩け大会や農業祭など)の際に配布したり、行政機関の窓口で配布する。 ② 歩け歩け大会開催時に、「蒲生君平生誕250年記念事業実行委員会」と連携し、蒲生君平生に関するPRも実施することにより魅力的な地域資源として効果的な情報発信を図る。  【平成31年度以降】 地区の広報紙やホームページ、宇都宮文化財マップによる広報活動を充実させ、継続して同道を地区の歩け歩け大会のコースとして活用するなど、持続的な地域活性化に繋げていく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図る。 【KPI】本市の魅力を広く市外、県外に発信することで、来訪者の増加を図るとともに、本市での定住を促進する。 本市年間観光入込客数 現状値1,353万人(H22実績)⇒目標値1,500万人(H29) ※1470万500人(H27実績)、1483万100人(H28実績)、1498万9,200人(H29実績)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・地区内の地域資源である豊かな自然と歴史文化遺産とが調和した「豊郷まほろばの道」の魅力が地区内外に発信する歩け歩け大会を地域住民主体で開催する。その際効果的に情報発信をするため、今年度生誕250年にあたる前方後円墳の名付け親である蒲生君平生のPRも実施する。	・「豊郷まほろばの道」を活用し歩け歩け大会を継続的に開催することにより、地区のホームページや広報用チラシ・パンフレットを活用し効果的に魅力を地区内外に発信しながら、交流人口の増加に繋がるように事業を実施	・「豊郷まほろばの道」を活用し歩け歩け大会を継続的に開催することにより、地区のホームページや広報用チラシ・パンフレットを活用し効果的に魅力を地区内外に発信しながら、交流人口の増加に繋がるように事業を実施		
事業費	345,000	149,000	149,000	643,000	149,000
市町支出金 (ソフト事業分)	196,000			196,000	
うち県交付金	98,000			98,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	149,000	149,000	149,000	447,000	149,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	宇都宮市豊郷地区市民センター
担当者名	金枝 宣行
電話	028(660)2340
FAX	028(660)2270
E-mail	u2222@city.utsunomiya.tochigi.jp



栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	東地区魅力創造事業
事業主体の名称	東地域まちづくり推進協議会
代表者の名称	会長 小島 義弘
事業主体の所在	宇都宮市東塙田1-6-14(東地域コミュニティセンター内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:東地区内の団体及び個人の相互の連絡調整及び協力を図ることにより、地域の活性化と、住民福祉の向上に寄与し、地域住民によるまちづくりを推進する。</li> <li>・設立年月日:平成15年4月1日</li> <li>・構成員等:東地区内で活動する各種団体</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>東地区は二荒山神社と田川の間位置し、JR宇都宮駅や県庁からも近く利便性の高い地域であるが、近年、高齢化率の上昇や空き家の増加、さらには東小学校の児童数の減少など、地域の活性化に大きな影響を及ぼす課題が顕在化している。少子高齢化は地域活動にも影響を及ぼしており、今後、地域が持続的に発展し続けるためには、子どもから高齢者まで世代間の交流を深め、顔の見える関係作りの再構築を行う必要がある。</p> <p>また、地域内の宮島町通りが「餃子通り」と命名され、餃子によるさらなる誘客促進への動きがあることから、餃子を目当てにした来訪者に、これまで認知度の低い東地区の地域資源にも目を向けてもらうことで、東地区の魅力を知ってもらい、交流人口を増やすことで地域の活性化を図る必要がある。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内外の人が参加するイベントを開催し、地域資源をPRすることで、地域の魅力発信と交流人口の拡大を図る。</li> <li>・地域内の様々な世代の人が集まり、ともに活動することで、地域活動の楽しさと「縦・横・斜」の関係づくりを行い今後の地域活動の礎とする。</li> <li>・地区内の「桜」に焦点を当てたマップを作成・配布することで、東地区の魅力を地区内外に発信するとともに、駅から歩いて巡る観光誘致の契機とする。</li> </ul>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>平成31年3月29日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○前夜祭</li> <li>東小学校内の桜のライトアップ</li> </ul> <p>平成31年3月30日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○春のコンサート(約2時間)</li> <li>演奏者の入替時に地域観光のPRを行う。</li> <li>○交流会食会の実施</li> <li>春のコンサート終了後に東小の桜を鑑賞しながら交流会食会を実施</li> <li>さくら田楽、もつ煮、桜色の綿菓子を提供</li> <li>○「あるいてめぐる宇都宮さくらマップ」の配布</li> <li>東地区と近隣の桜の名所などを紹介する散策ルートマップを作成し、地域住民に地域資源を再認識してもらうとともに、JR宇都宮駅から歩いて観光するルートを来訪者に紹介する。</li> </ul> <p>※ 「あるいてめぐる宇都宮さくらマップ」はイベント終了後も桜の開花期間に地域飲食店等で配布する。          ※ ひがしふるさとさくらまつりの様子を撮影し、動画配信し、東地区の良さをPRする。</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>桜の開花時期に継続して開催する。また、地域行事の際にふるまえる名物料理の研究を行い、定着に向けて取り組んでいく。</p> <p>【周知方法】</p> <p>チラシ及びポスターを製作し周知する。また、地域Blog、市広報紙、宮ラジなどを通じてPRする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図る</p> <p>【KPI】本市の魅力を広く市外、県外に発信することで、来訪者の増加を図るとともに、本市での定住を促進する。</p> <p>本年年間観光入込客数 現状値1,353万人(H22実績)⇒目標値1,500万人(H29)</p> <p>※1470万500人(H27実績)、1483万100人(H28実績)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・春のコンサート ・桜下交流会食会	・春のコンサート ・桜下交流会食会	・春のコンサート ・桜下交流会食会		・春のコンサート ・桜下交流会食会
事業費	738,000	350,000	350,000	1,438,000	350,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000			500,000	
うち県交付金	250,000			250,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	238,000	350,000	350,000	938,000	350,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	宇都宮市中央市民活動センター
担当者名	麓谷 文子
電話	028(632)6331
FAX	028(632)7579
E-mail	u47090100@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	歴史的文化資源を活用したまちづくり推進事業
事業主体の名称	雀宮地区まちづくり推進協議会
代表者の名称	会長 稲葉 豊
事業主体の所在	宇都宮市新富町9-4
事業主体の概要	<p>・団体の目的:雀宮地区内の各種団体、関係機関の連絡調整を図り、必要な実践活動を通して、地区の活性化、住民福祉の向上に寄与するとともに、住民によるまちづくりを推進することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成15年4月1日</p> <p>・構成員等:雀宮地区の自治会、各種団体、機関、その他ボランティア等地区内で活動する団体などをもって組織</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>この地域には、古い歴史の記録と長い間、農が生活の中心であったことから生まれた、田園風景、田川や古墳の美しい眺め、身近な生活環境に溶け込んだ数多くの文化財や寺社などがある。また一方で、地域の念願であった雀宮駅周辺の整備や幹線道路、そして御田や茂原の美田や駅西地区には計画的に整備された住宅団地など、このまちの都市化の歴史を物語る風景がある。そしてこれらの風景が折り重なったまちの景観は、今も現在進行形で変容を続けている。</p> <p>現在、このまちにはどのような人々の営みの記憶が刻まれているのかを多くの方がしっかりと認識し、何を残していくのか、そして何を新たに創造していくのかを考え、実践に移していく必要がある。</p>
事業目的	めざましい発展を遂げてきた雀宮地区の歴史の重みを感じ、ふるさとの誇りや魅力を後世につないでいくため、「雀宮の日」を制定し、地域をあげて祝い、まちづくりにつなげていく
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>平成30年は現在の形(地区割り)になって65周年を迎えることから、町制施行日の11月1日を雀宮の日(雀宮つしの日)として制定し、地域をあげてお祝いをする。また、まちの歴史、暮らしの文化について認識を深め、次の世代に残していくべきまちの景観について、考え、創造につなげていくこととする</p> <p>1. 実施日時:平成30年11月18日(日)雀宮地域文化祭・収穫祭と同時開催</p> <p>2. 場所:雀宮地区市民センター</p> <p>3. 記念行事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雀宮地区(針ヶ谷町出身)のシンガーソングライター関口ゆきさんに作詞・作曲を依頼している「雀宮の歌(正式な曲は未だ)」お披露目</li> <li>・雀宮のお菓子販売(まちづくりワークショップから派生したグループなど)</li> <li>・前夜祭で雀宮の歴史や史跡を描いたプロジェクト上映</li> <li>・雀宮ふるさとかるた大会:平成29年度にできた雀宮ふるさとかるたを使い地域の子どもたちを中心としたかるた大会を実施</li> <li>・案内看板の設置(坂本陣芦谷家、栗塚古墳、大日塚古墳、権現山古墳)</li> </ul> <p>※看板設置予定箇所は公共用地(国道・県道・市道)</p> <p>※占用許可手続きを経て設置(案内看板は、文化祭史跡巡り・ちゅんちゅんウォーク・駅からハイキング等イベントにて活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雀宮地区に伝わる歴史や伝記をまとめた「すずめのみやものがたり」を編集、学校や関係機関に配布し、地域に対する住民のより一層の誇りや愛着を高められるよう推進</li> <li>・町制施行記念碑周辺のグランドカバーとして「竜のヒゲ」を植栽し、環境美化を図る</li> </ul> <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雀宮の歌:各イベントのオープニング曲として流すほか、学校音楽祭のフィナーレ等にて参加者と来場者とで一緒に歌うことで子どもたちをはじめ幅広い世代に伝え継続していく</li> <li>・雀宮のお菓子:文化祭や各種イベントで販売し、雀宮のお菓子として定着させていく。</li> <li>・史跡看板の設置:文化祭史跡巡り・ちゅんちゅんウォーク・駅からハイキング等イベントにて活用し、地域に対する住民のより一層の愛着を高める</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>各市町の戦略から抜き出して記載(※センター職員が記載:「宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」から関係指標を転記)</p> <p>【目標】人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図る</p> <p>【KPI】本市の魅力を広く市外、県外に発信することで、来訪者の増加を図るとともに、本市での定住を促進する。</p> <p>本市年間観光入込客数 現状値1,353万人(H22実績)⇒目標値1,500万人(H29)</p> <p>※1470万500人(H27実績), 1483万100人(H28実績), 1498万9,200人(H29実績)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度(31年度)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雀宮の日記念事業</li> <li>・雀宮のお菓子事業</li> <li>・観光案内史跡看板設置事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雀宮の歌の活用</li> <li>・雀宮のお菓子事業</li> <li>・観光案内史跡看板の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雀宮の歌の活用</li> <li>・雀宮のお菓子事業</li> <li>・観光案内史跡看板の活用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・雀宮の歌の活用</li> <li>・雀宮のお菓子事業</li> <li>・観光案内史跡看板の活用</li> </ul>
事業費	660,000	80,000	80,000	820,000	80,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000			500,000	
うち県交付金	250,000			250,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	160,000	80,000	80,000	320,000	80,000